

【 芯材の種類 】

◎ 芯材の種類

○スライサー（教室は0.6mm厚）

幅広い場所に使えるスタンダードな芯材

教室では糊引き加工がしてあるのでシールの様に貼れる

○黄ボール（教室は0.8mm厚）

『黄色のボール紙』略して黄ボール。普通のボール紙でも

代用出来ます。教室ではゴムのりや両面テープで貼ることが多い

○合皮

『合成皮革』略して合皮。天然皮革に似せて作った生地

[ハリ]と[しなやかさ]があり、教室では口芯にも使う

○その他

上記以外にも、とても多くの種類の芯材がありますが、

この課題では上の3種類を使いこなせる様になりましょう

◎芯材の向き

素材の多くは [タテ] と [ヨコ] の向きに違いがあります

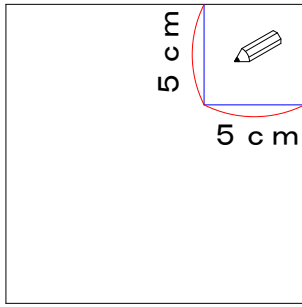
1つは [伸びやすい方] と [伸びにくい方] で

もう1つは [曲がりやすい方] と [曲がりにくい方] です

芯材は『切り出す時』や『貼る時』向きに注意しましょう

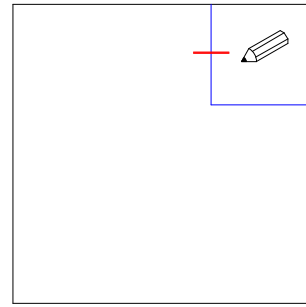
【 芯材の向き 】

◎ 芯の向きの調べ方 ①



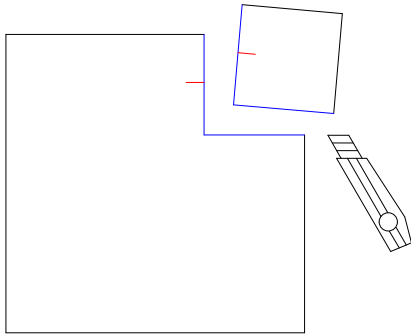
素材に 5 cm x 5 cm の四角を書く
(フリーハンドで大丈夫です)

②



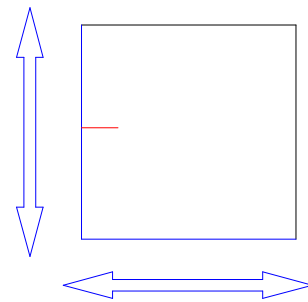
1つの辺に合印を入れる

③



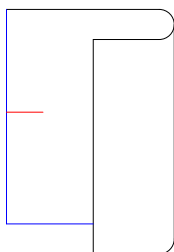
5 cm x 5 cm を切り出す

④



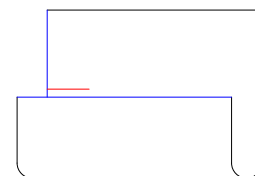
タテ方向とヨコ方向に
引っ張ってみる

⑤



ヨコ方向に曲げてみて
硬さを憶える

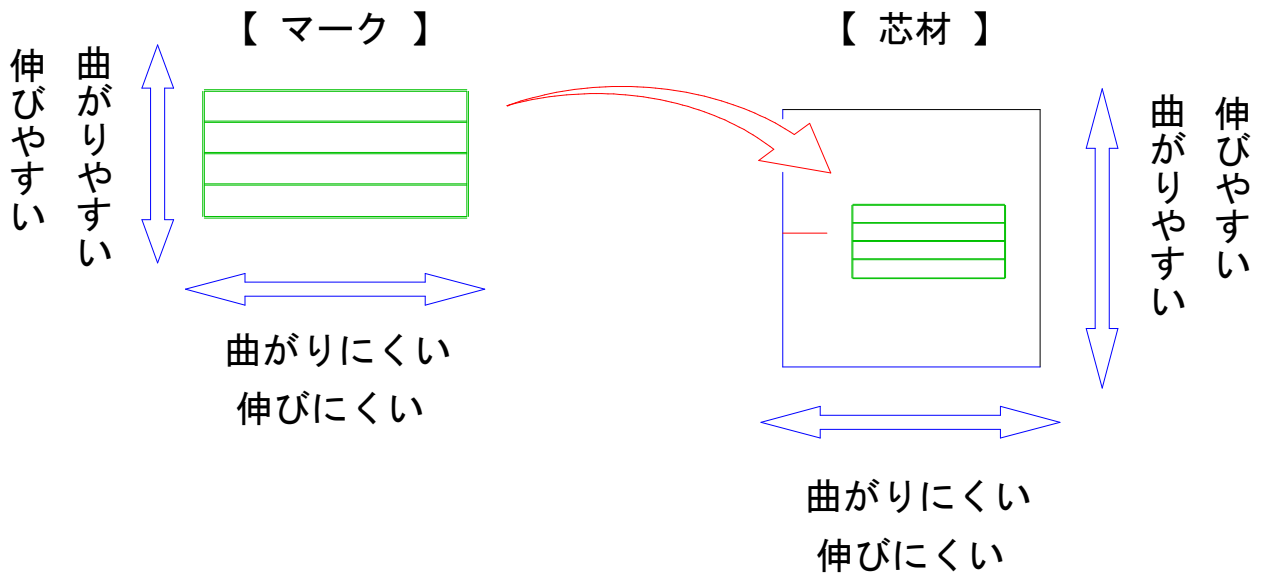
⑥



タテ方向に曲げてみて
ヨコとの違いをみる

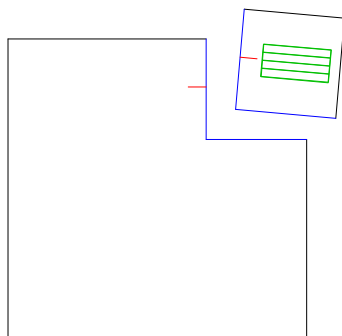
【 芯材のマーク 】

⑦



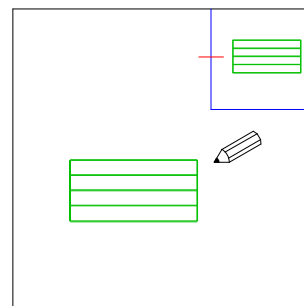
タテ方向とヨコ方向の【伸び方】や【曲がり方】をみて
芯材に『マーク』を書き込む

⑧



合印を見て芯材を戻して

⑨



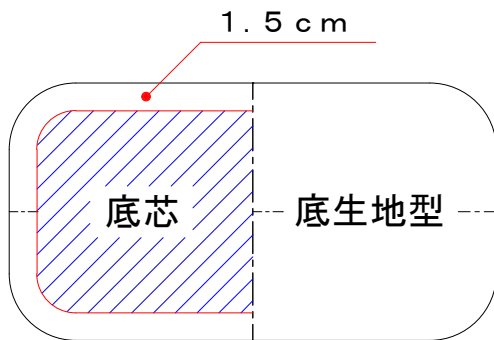
芯材本体にマークを写す

【底芯 ①】

① 底芯

※ 課題3での一例 ※

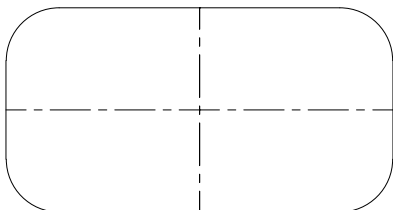
下の説明は課題3での一例ですので
カバンの作り方が変わると底芯の型紙も変わります



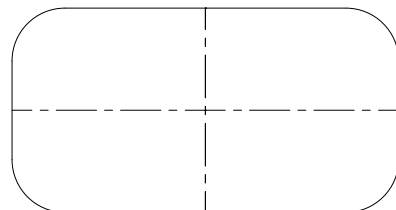
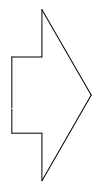
底のカチをしっかりとさせる為の芯材
教室では【黄ボール】を使うことが多く
小判底では「底生地型」から-1.5cm
したサイズのを底芯として使う

①-1 底生地型と同じ型紙を作る

底生地型



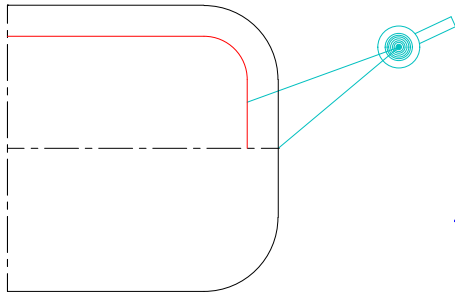
同じ大きさの型紙



【四方対称の型紙】を使って底生地型と同じ型紙を作る
(書き込みやカマは写さない)

【 底芯 ③ 】

①-2 コンパスで内側に線を引く

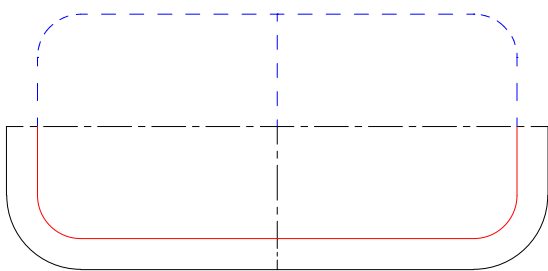
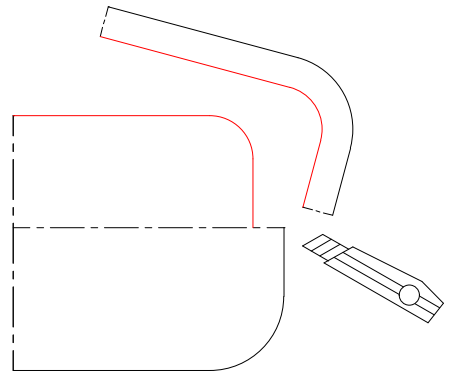


コンパスの幅を 1.5 cm に合わせて
底生地型の内側に線を引く

※ 線は全体の 1 / 4 だけ引く ※

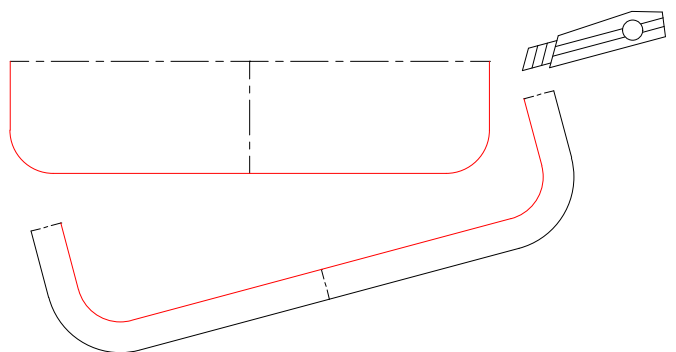
①-3 切り出し

型紙を 2 つに折って 1 / 4 の線を切る



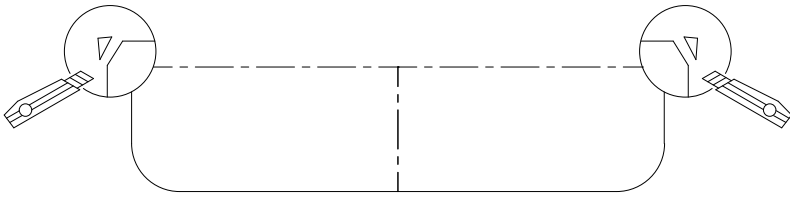
折り方を変える

はみ出した部分を切る

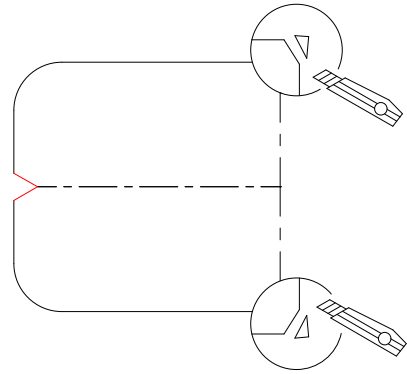


【 底芯 ④ 】

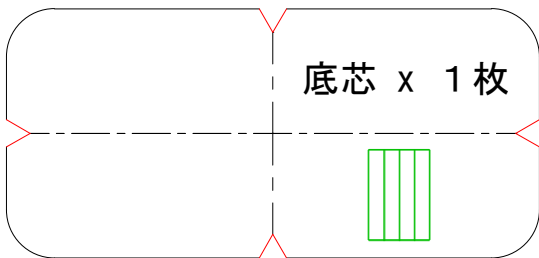
①-4 十字にカマを入れる



型紙を2つに折って角を三角にカットして
十字線の端4ヶ所にカマを入れる



①-5 名前とマークを書く

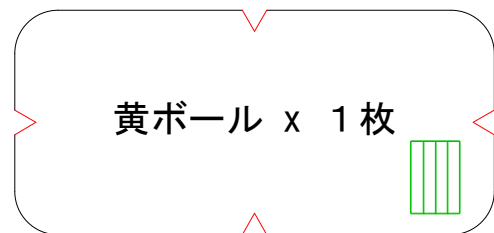
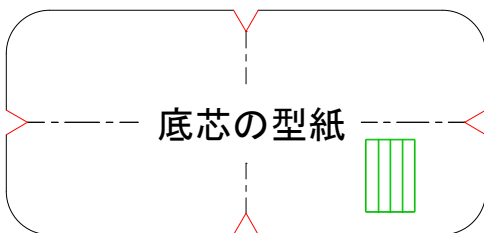


名前【底芯 x 1枚】と

【マーク】を書く

(枚数の指示を忘れないコト)

①-6 芯材の切り出し



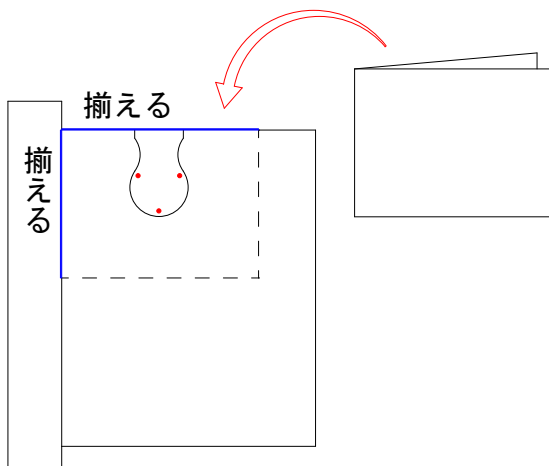
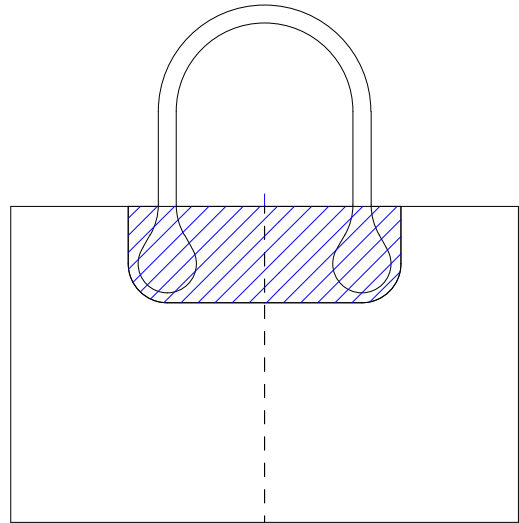
型紙を使って【黄ボール】を切り出す

(カマを忘れないコト)

【 口芯 ① 】

② 口芯

- ・口芯は【カバンの口元】や【ポケットの口元】をしっかりとさせる為に貼る芯材
- ・範囲や用途によって【大きさ】や【素材】を変える

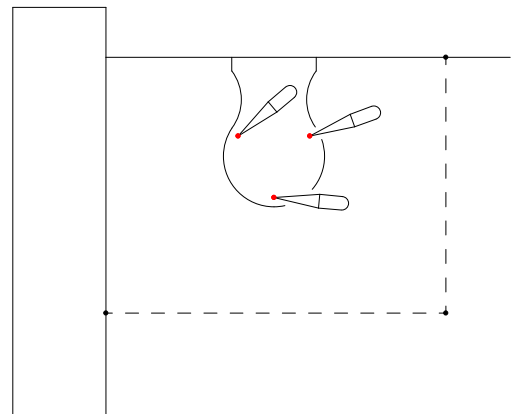


②-1 型紙と口芯を重ねる

『左右対称の型紙』と『胴生地型』を定規で重ねて、型紙の上を揃える

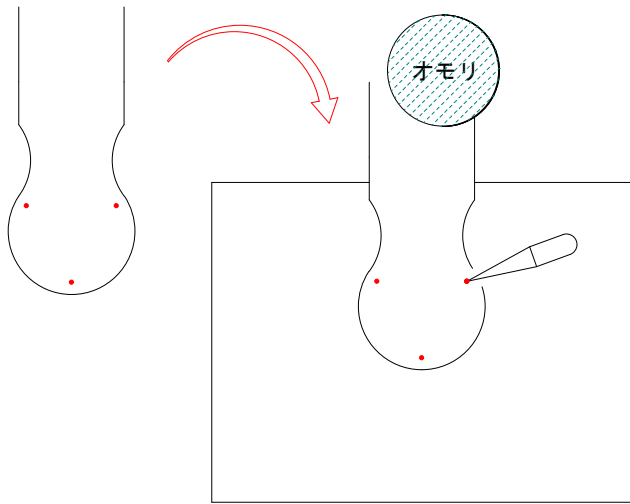
②-2 印を写す

胴生地型の印を目打ちで突いて
下の左右対称の型紙（口芯の型紙）に写す



【 口芯 ② 】

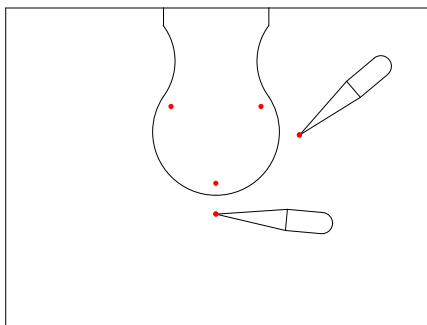
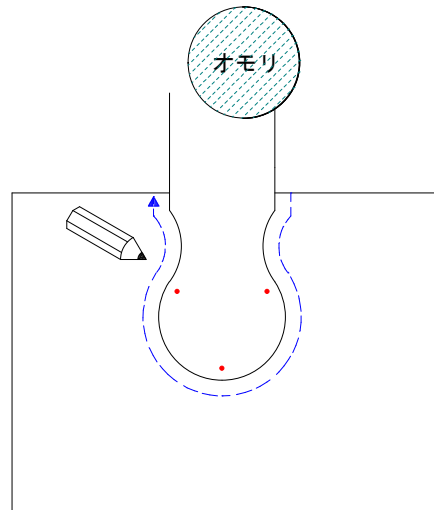
②-3 ハンドルの型紙を重ねる



口芯の型紙にハンドルの型紙を
乗せて目打ちの印を丁寧に
合わせてオモリを置く

②-4 ハンドルをなぞる

ハンドルの型紙の縁を
ペンでなぞって
ハンドルの型紙を外す

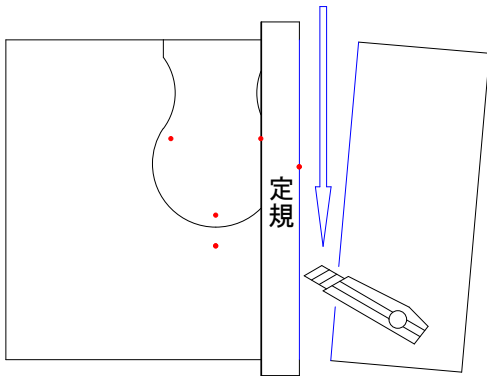


②-5 5mm外に目打ちを打つ

口芯の型紙に描いた
ハンドルのシルエットの
右ヨコ5mmと下5mmに目打ちを打つ

【口芯 ③】

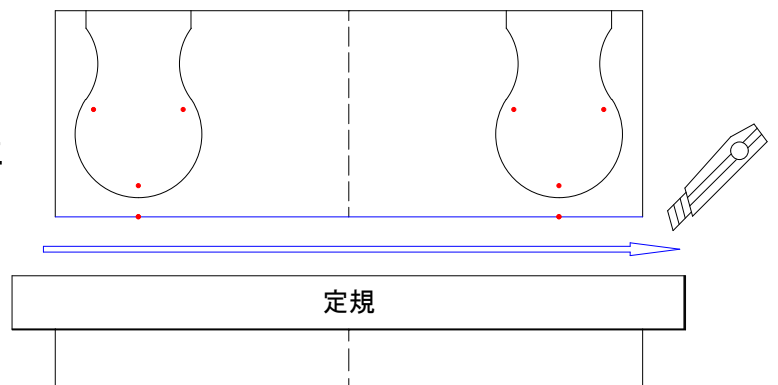
②-6 切り出し



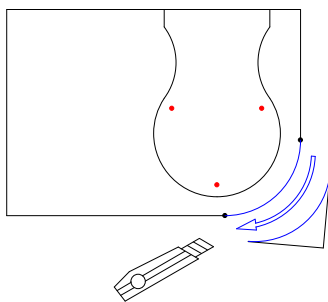
ヨコの目打ちに定規を
当ててカットする

②-7 切り出し

型紙を広げて下の2つの目打ちに
定規を合わせてカットする

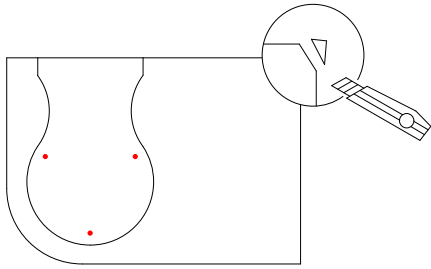


②-8 切り出し



角を丸くカットする
(当たりが出ない様に角を丸くするイメージ)

【 口芯 ④ 】



②-9 カマを入れる

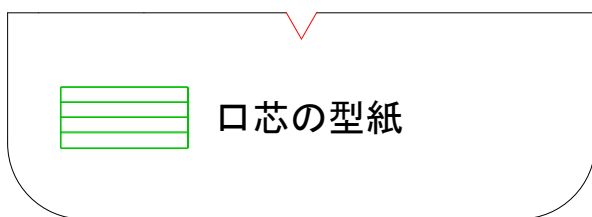
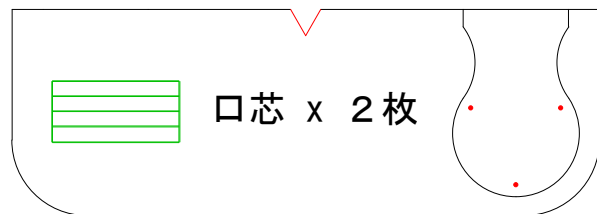
2つに折って上の角を三角にカットして
型紙にカマを入れる

②-10 名前とマークを書く

名前【口芯 × 2枚】と

【マーク】を書く

(枚数の指示を忘れないコト)



裁断する



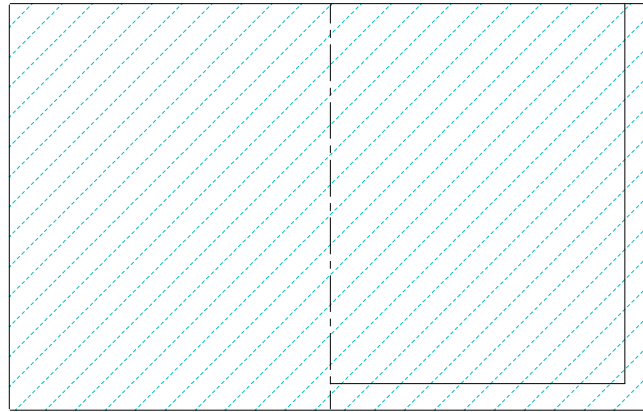
②-11 芯材の切り出し

型紙を使って【芯材】を切り出す

(カマを忘れないコト)

【 胴芯 ① 】

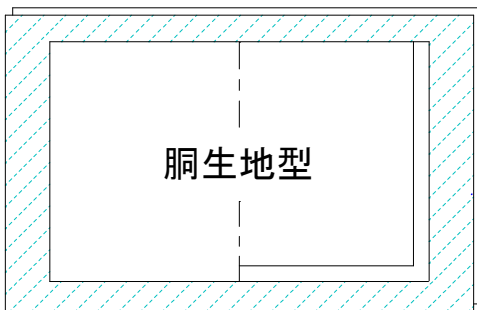
③ 胴芯



【胴】にハリを持たせる為に貼る芯

胴に使う革や生地によって【芯の素材】や【貼る面積】が変わる

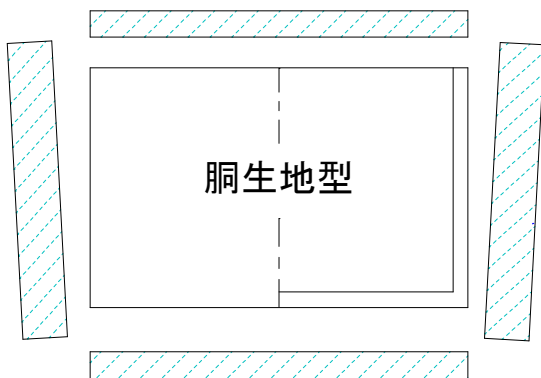
【芯を全面に貼る場合】



貼り合わせる



胴生地型より少し大きく裁断した【表地】と【芯材】を貼り合わせる



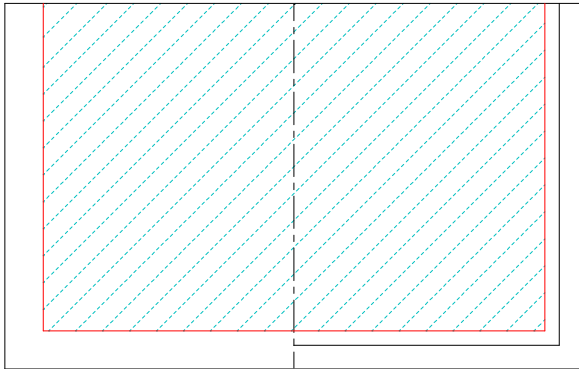
貼り合わせた【表地】と【芯材】を
胴生地型どおりに裁断する

【 胴芯 ② 】

【芯を控える幅】

※ 課題3での一例 ※

下の3つは課題3での一例ですので
カバンの作り方が変わると芯の型紙も変わります



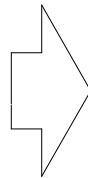
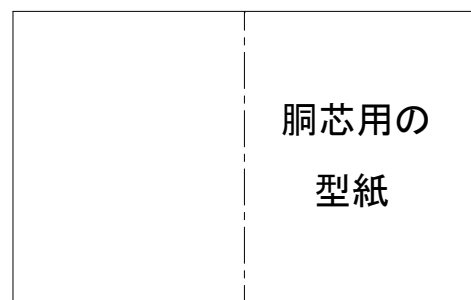
- 1、上は胴生地型と同じ
- 2、左右は胴生地型から [- 1 cm]
- 3、下は胴生地型から [- 1 cm]

①-1 胴生地型と同じ型紙を作る

生地型



同じ大きさの型紙

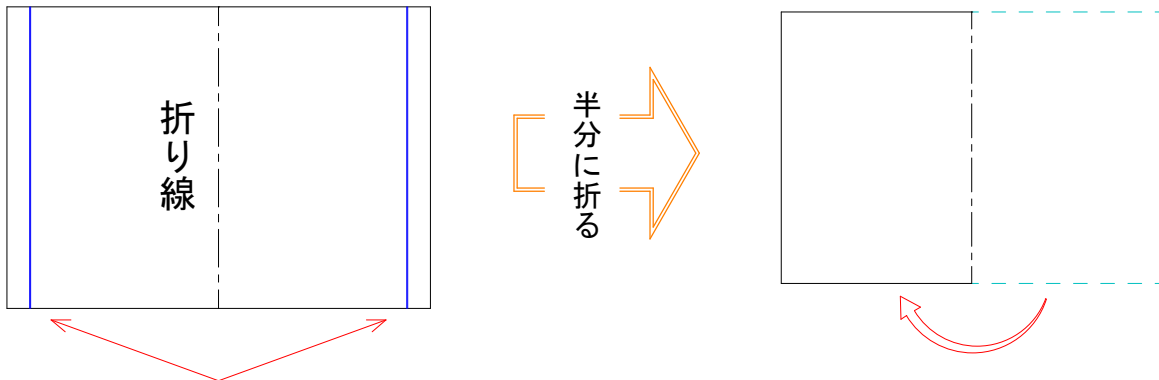


【左右対称の型紙】を使って胴生地型と同じ型紙を作る

(書き込みやカマは写さない)

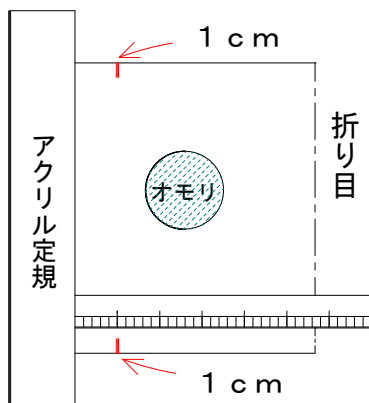
【 胴芯 ③ 】

③-2 左右 1 cm をカットする為に型紙を 2 つ折る



この後、両端 1 cm をカットするので

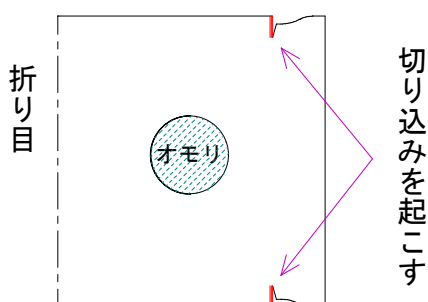
③-3 上下 1 cm の所に切り込みを入れる



折り目の反対に定規を当てて
その定規にセンチ差しを当てて
1 cm の所に切り込みを入れる (上下)



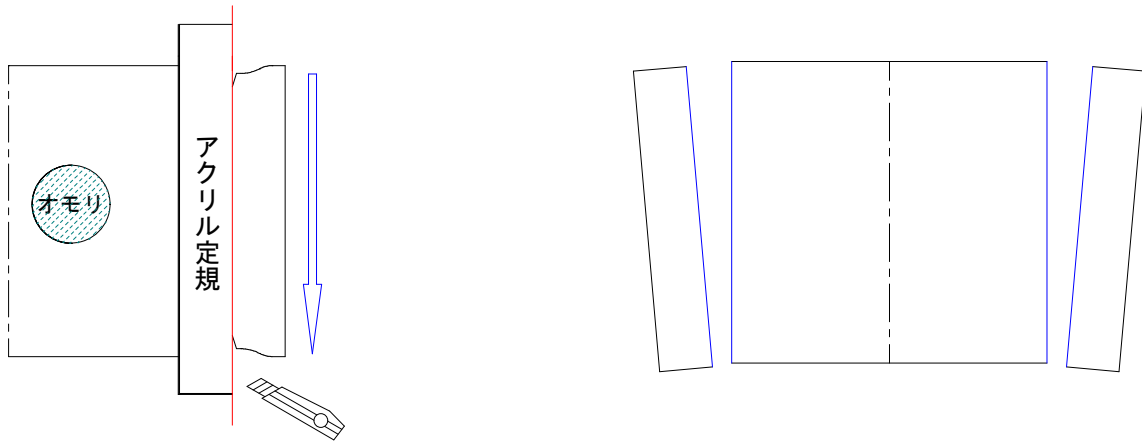
③-4 切り込みを起こす



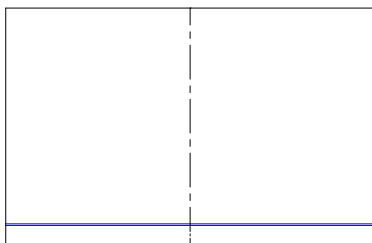
型紙を左右反対に戻して
切り込みを起こして
オモリを置く

【 胴芯 ④ 】

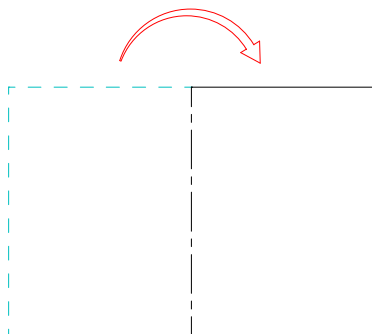
③-5 起こしたところをカットする



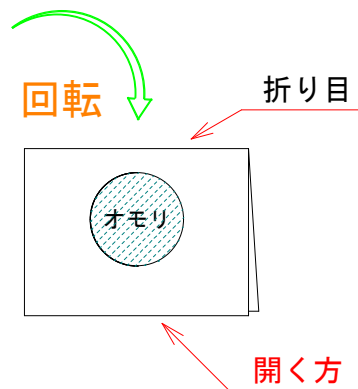
③-6 下から1cmをカットする



半分に折る

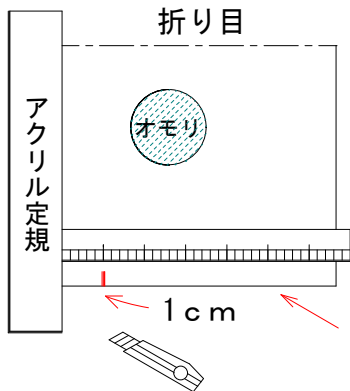


下から1cmをカットする為に型紙を2つ折り
折り目を上にしてオモリを置く



【 胴芯 ⑤ 】

③-7 下 1 cmの所に切り込みを入れる



折り目を上にして左に定規を当てて

その定規にセンチ差しを当てて

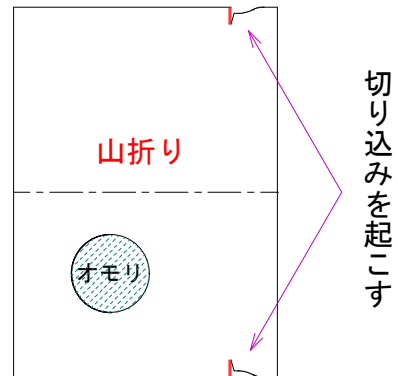
1 cmの所に切り込みを入れる（開く方）



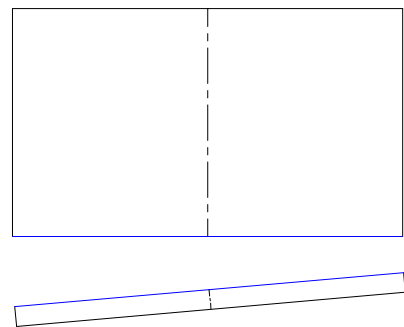
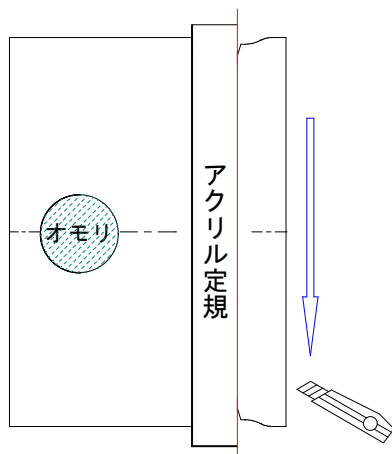
③-8 切り込みを起こす

型紙を山折りで開けて

切り込みを起こしてオモリを置く



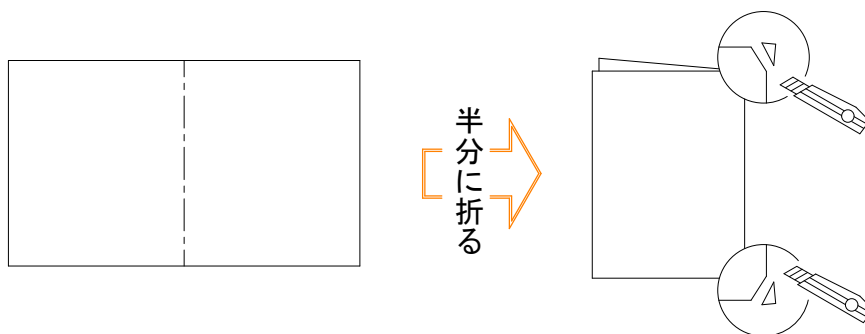
③-9 起こしたところをカットする



起こしたところに定規を当てて型紙を広げた状態でカットする

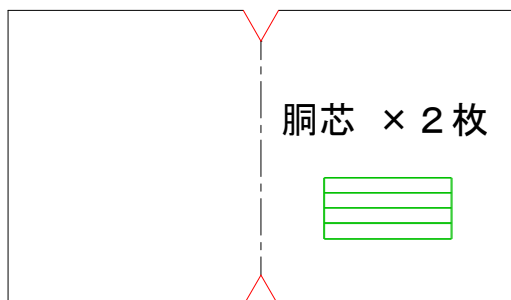
【 胴芯 ⑥ 】

③-10 カマを入れる



2つに折って上下の角を三角にカットして型紙にカマを入れる

③-11 名前とマークを書く



名前と【 胴芯 × 2枚 】と
【 マーク 】を書く
(枚数の指示を忘れないコト)

③-12 芯材の切り出し



型紙を使って【 芯材 】を切り出す (カマを忘れないコト)